

一般国道42号
松阪^{まつさか}多気^{たき}バイパス
(道路事業)

説明資料

平成29年9月25日

中部地方整備局
紀勢国道事務所

目 次

まつさかたき	
1. 一般国道42号松阪多気バイパスの事業概要	
(1)事業目的	P. 1
(2)計画概要	P. 2
2. 評価の視点	
(1)事業の必要性に関する視点	
①交通渋滞の緩和	P. 3
②交通事故の削減	P. 3
③ストック効果の事例：沿線地域の産業支援	P. 4
3. 事業費の見直しについて.....	P. 5
4. 事業の進捗及び見込みの視点	P. 7
5. 県・政令市への意見聴取結果.....	P. 7
6. 対応方針(原案)	P. 7

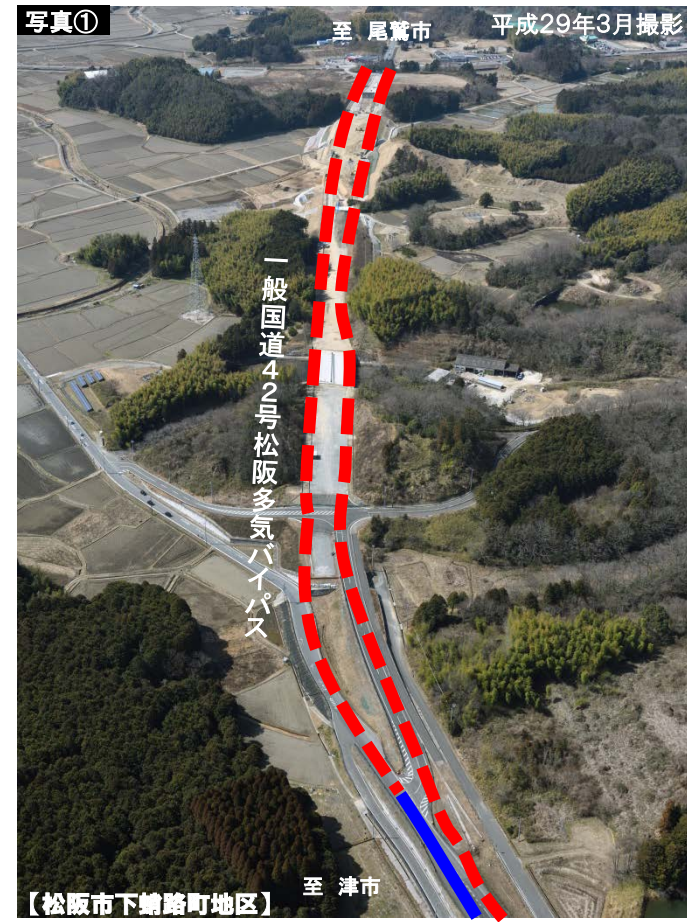
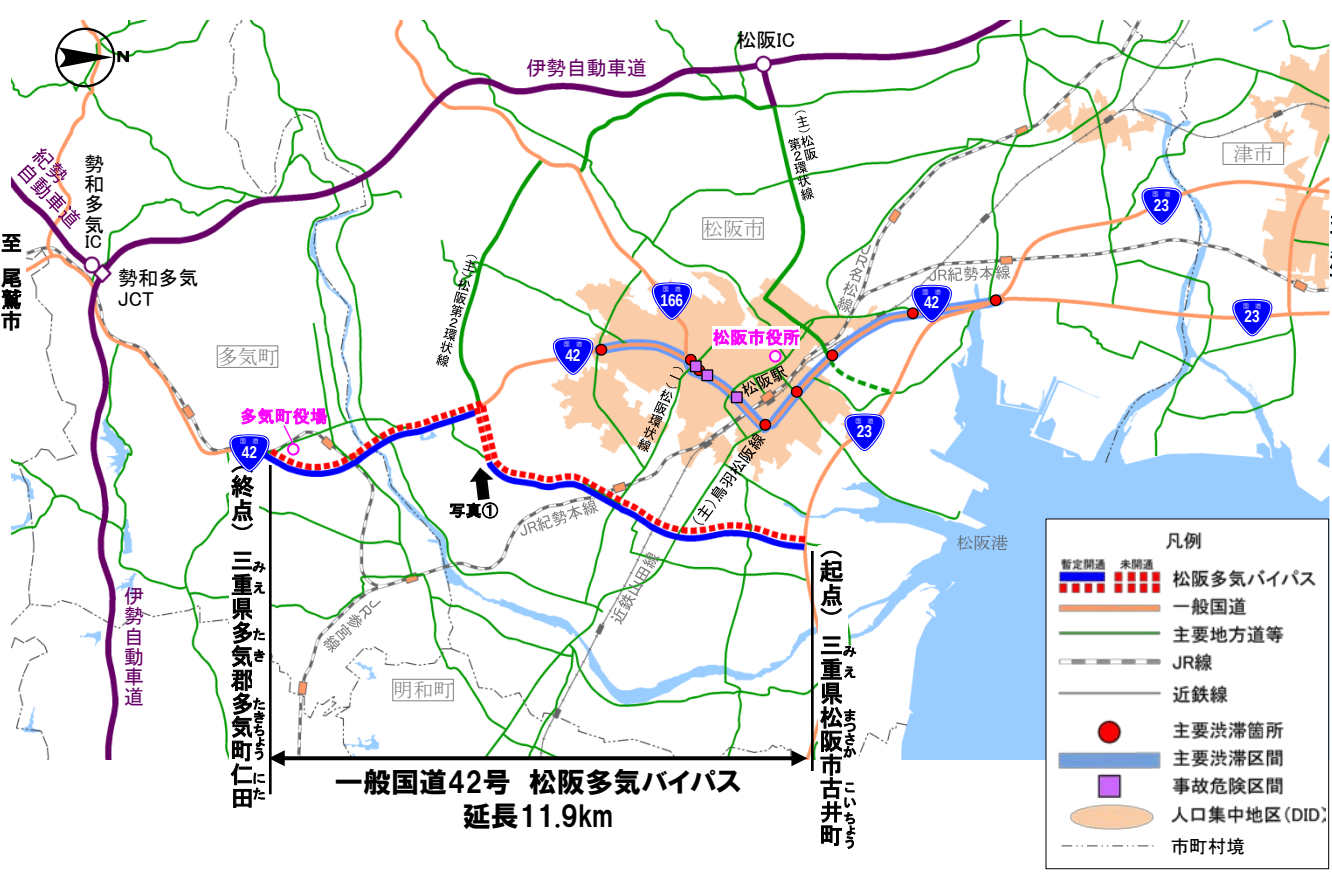
1. 一般国道42号松阪多気バイパスの事業概要

(1) 事業目的

一般国道42号松阪多気バイパスは、三重県松阪市古井町から三重県多気郡多気町仁田に至る延長11.9kmのバイパスであり、交通渋滞の緩和、交通事故の削減、沿線地域の産業支援を目的に計画された道路です。

並行する現道42号には、主要渋滞箇所(8箇所)や、事故危険区間(3区間)の存在などの課題があり、本事業は、課題解決のためにバイパスを整備することで、交通の円滑化・安全性の向上等の効果を見込んでいます。

松 阪 多 気 バ イ パ ス の 全 体 位 置 図

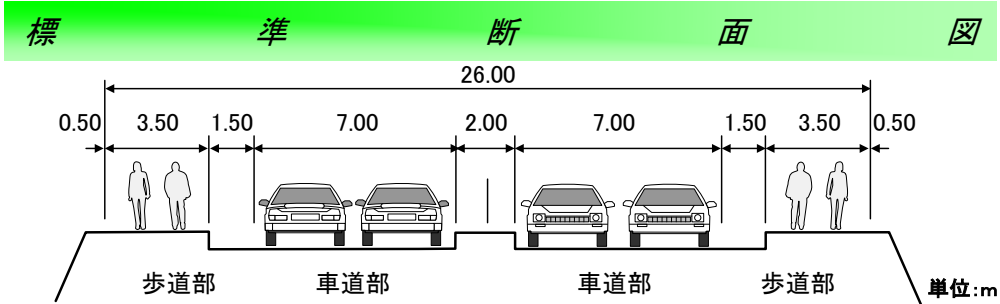
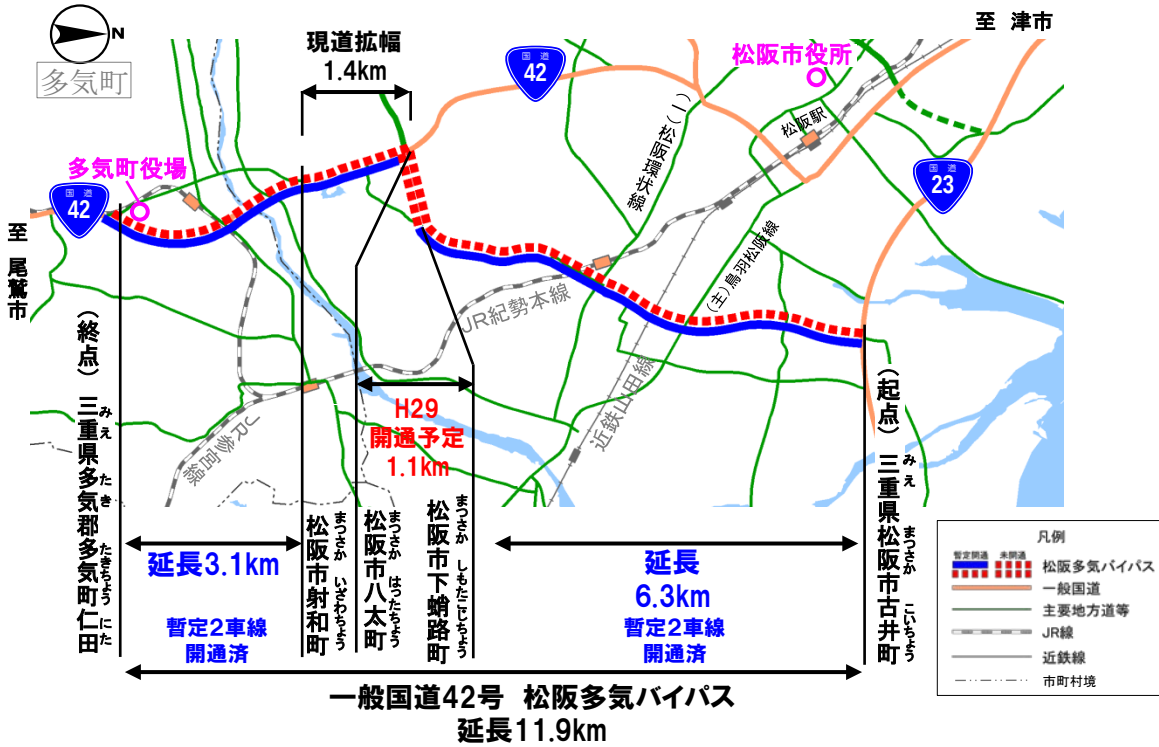


1. 一般国道42号松阪多気バイパスの事業概要

(2) 計画概要

■平成28年度末迄に松阪市古井町～下蛸路町(延長6.3km)、松阪市射和町～多気町仁田(延長3.1km)の合計9.4kmが暫定2車線により開通しています。

事業名	一般国道42号 松阪多気バイパス
道路規格	第3種第1級
設計速度	80km/h
車線数	4車線
都市計画決定	昭和59年度・昭和61年度
事業化	昭和62年度
用地着手年度	昭和63年度
工事着手年度	平成3年度
延長 (平成25年度末)	11.9km (うち暫定2車線開通済み9.4km)
前回の再評価	平成26年度 (指摘事項なし:継続)
全体事業費	495億円(15億円増額)
B/C	1.8(H26再評価時)



2. 評価の視点

(1) 事業の必要性に関する視点

① 交通渋滞の緩和

1) 事業を巡る社会情勢等の変化

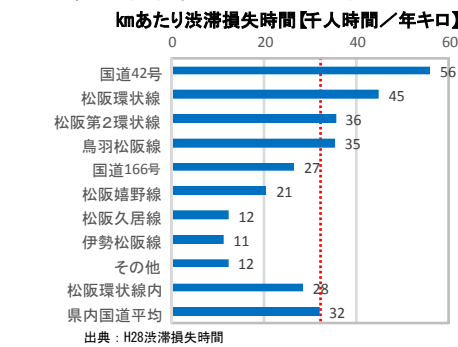
- 松阪市の幹線道路は、市街地を迂回する環状道路が一部未整備であり、松阪市内への交通集中による慢性的な渋滞が起きています。
- 松阪市環状道路内の主要な道路では渋滞損失時間が県内国道平均を上回り、特に国道42号が大きくなっています。

2) 事業の投資効果

○ 松阪多気バイパスの整備により環状機能が強化されることで交通分散が図られ、松阪市環状道路内の渋滞損失時間が約2割減少し、松阪市内の交通集中緩和が期待されます。

1) 事業を巡る社会情勢等の変化

○ 松阪市等環状道路内の渋滞状況



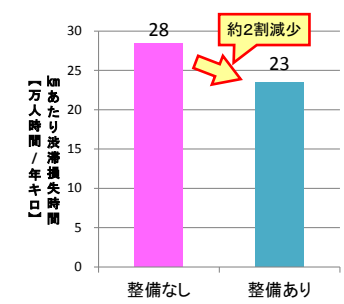
○ 国道42号の渋滞の様子



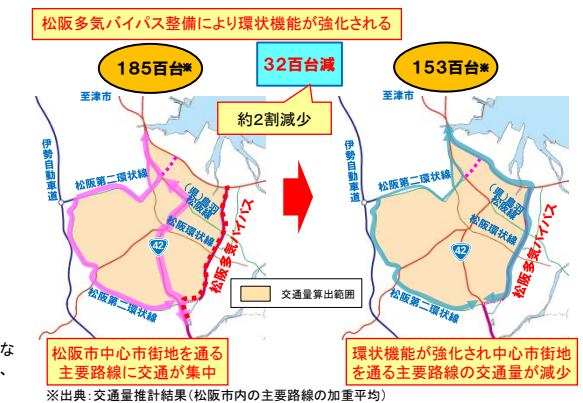
(松阪市大黒田町)

2) 事業の投資効果

○ 渋滞損失時間の削減 (松阪市環状道路内)



○ バイパス整備による交通分散イメージ



② 交通事故の削減

1) 事業を巡る社会情勢等の変化

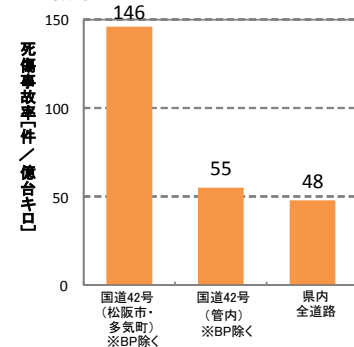
- 松阪多気バイパスと並行する国道42号の死傷事故率は、県内全道路よりも上回っています。特に国道42号 (松阪市・多気町) では県内全道路のおよそ3倍の死傷事故率となっています。

2) 事業の投資効果

○ 松阪多気バイパスの整備により、通過交通が市街地を迂回することで、交通分散が図られ、松阪市街地の死傷事故件数が約3割減少し、交通事故削減効果が期待されます。

1) 事業を巡る社会情勢等の変化

○ 死傷事故率



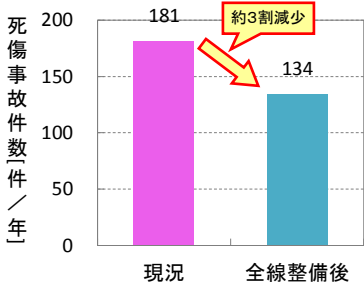
○ 国道42号で起きた事故の様子



(松阪市鎌田町)

2) 事業の投資効果

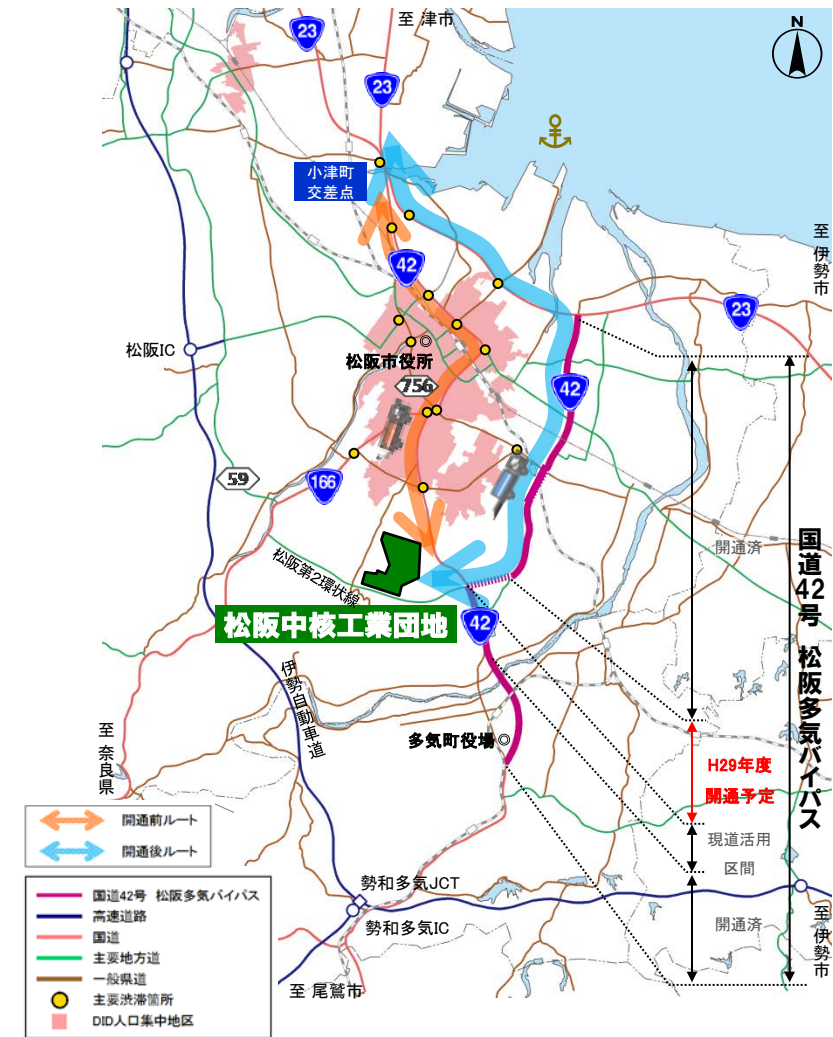
○ 減少が期待される市街地内の死傷事故



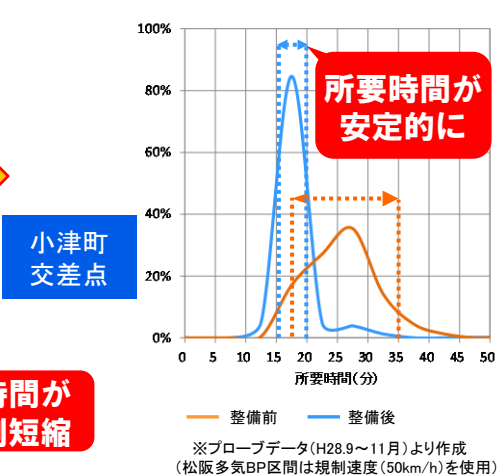
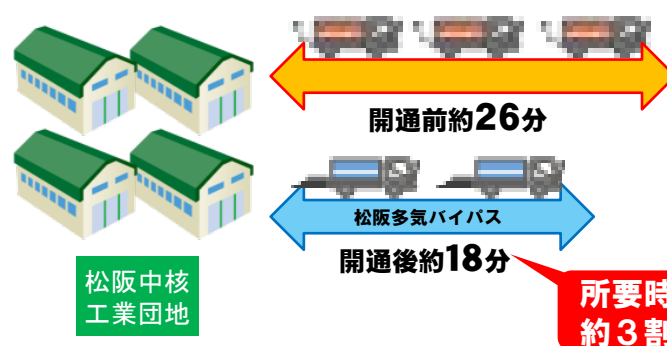
2. 評価の視点

(1) 事業の必要性に関する視点 ③ストック効果の事例：沿線地域の産業支援

- 110ヘクタールの広大な敷地に27社が立地し、2,000人が働く地域の生産・流通のネットワーク拠点である松阪中核工業団地。
- 松阪多気バイパスの整備により、松阪中心市街地を迂回する安定的な物流ネットワークが形成され、工業団地内に立地する企業の生産性向上を支援。



■ 松阪多気バイパス整備による所要時間の変化 ＜松阪中核工業団地→小津町交差点の所要時間＞



■ 松阪中核工業団地で製造された製品の輸送



〔三菱重工業(株)の声〕
走りやすさ、安全性の観点から、
国道42号松阪多気バイパスを利用し、愛知県内にある最終組立工場への輸送を考えています。

※紀勢国道事務所ヒアリング調査より作成

3. 事業費の見直しについて

■事業費増加の要因

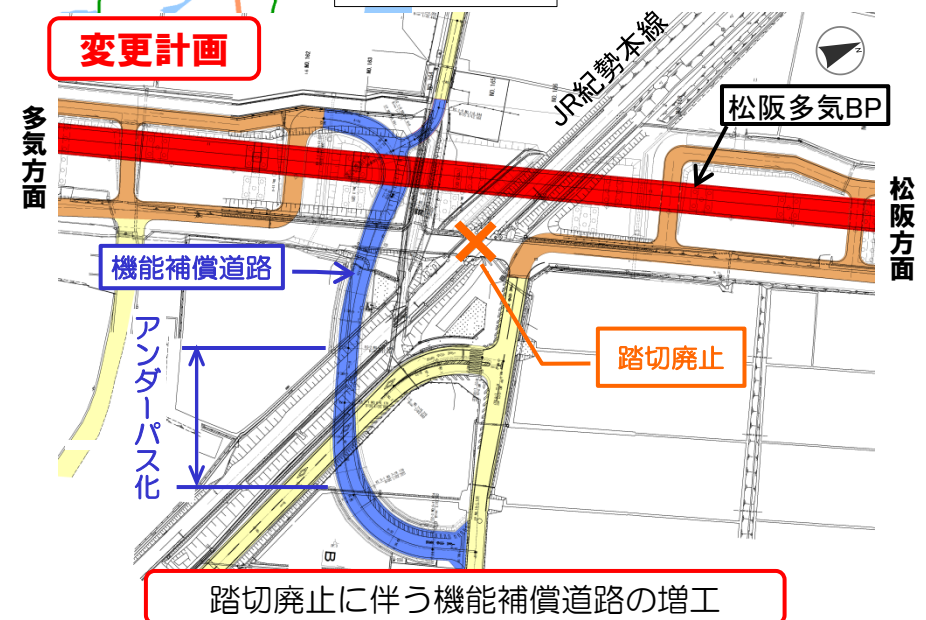
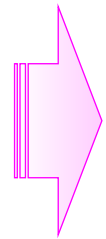
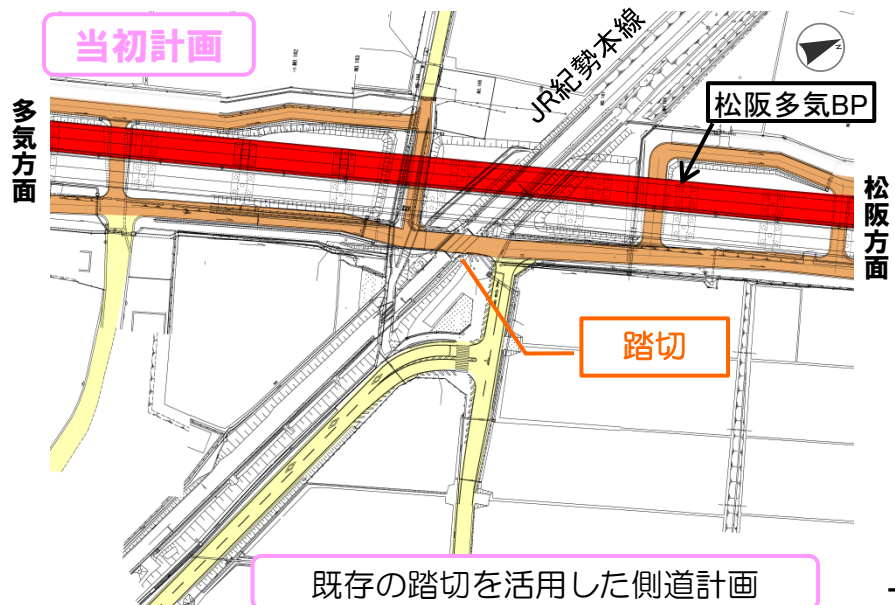
・鉄道踏切廃止に伴う機能補償道路の増工 15億円

事業費増額の要因	増額
①鉄道踏切廃止に伴う機能補償道路の増工 ・当初、当該バイパスとJR紀勢本線との交差部は立体交差とし、地域住民が利用する側道については、既存の市道（踏切あり）を活用する計画としていた。 ・しかしながら、鉄道事業者との協議の結果、踏切事故防止の観点から既存踏切を撤去する必要性が生じた。 ・既存踏切の撤去に伴う側道の途絶、地域分断を避けるため、当該交差部における機能補償道路が増工となったもの。	15億円

3. 事業費の見直しについて

① 鉄道踏切廃止に伴う機能補償道路の増工 +15億円

- 当初、当該バイパスとJR紀勢本線との交差部は立体交差とし、地域住民が利用する側道については、既存の市道（踏切あり）を活用する計画としていた。
- しかしながら、鉄道事業者との協議の結果、踏切事故防止の観点から既存踏切を撤去する必要が生じた。
- 既存踏切の撤去に伴う側道の途絶、地域分断を避けるため、当該交差部における機能補償道路が増工となったもの。



4. 事業の進捗及び見込みの視点

1) 事業の進捗状況

- 事業進捗率は約84%、用地進捗率は100%に至っている。(平成28年度末)
(参考) 前回評価時: 事業進捗率は79%、用地進捗率は99%。(平成25年度末)

2) 事業の進捗の見込みの視点

- 松阪市上川町～虹が丘町間(延長0.8km)は、平成29年1月20日に暫定2車線で開通。
- 松阪市下蛸路町～八太町間(延長1.1km)については、平成29年度内の開通に向けて改良及び舗装工事を推進します。

5. 県・政令市への意見聴取結果

■三重県の意見

対応方針(原案)のとおり、事業の継続について異存ありません。

本事業は、慢性的な渋滞や交通事故が多い国道42号において、交通渋滞の緩和や交通事故の削減を図るため、さらには地域経済活性化の支援を図るため重要なバイパス事業です。今後も引き続き、本県と十分な調整をしていただき、松阪市下蛸路町～八太町間(1.1km)の今年度の1日も早い供用と早期全線完成に向けた事業の確実な推進をお願いいたします。

6. 対応方針(原案)

- 一般国道42号松阪多気バイパスの事業を継続する。